

これまでの意見交換のまとめ ～ 各エリアに対するイメージ ～

再整備のテーマ
(エリア全体)

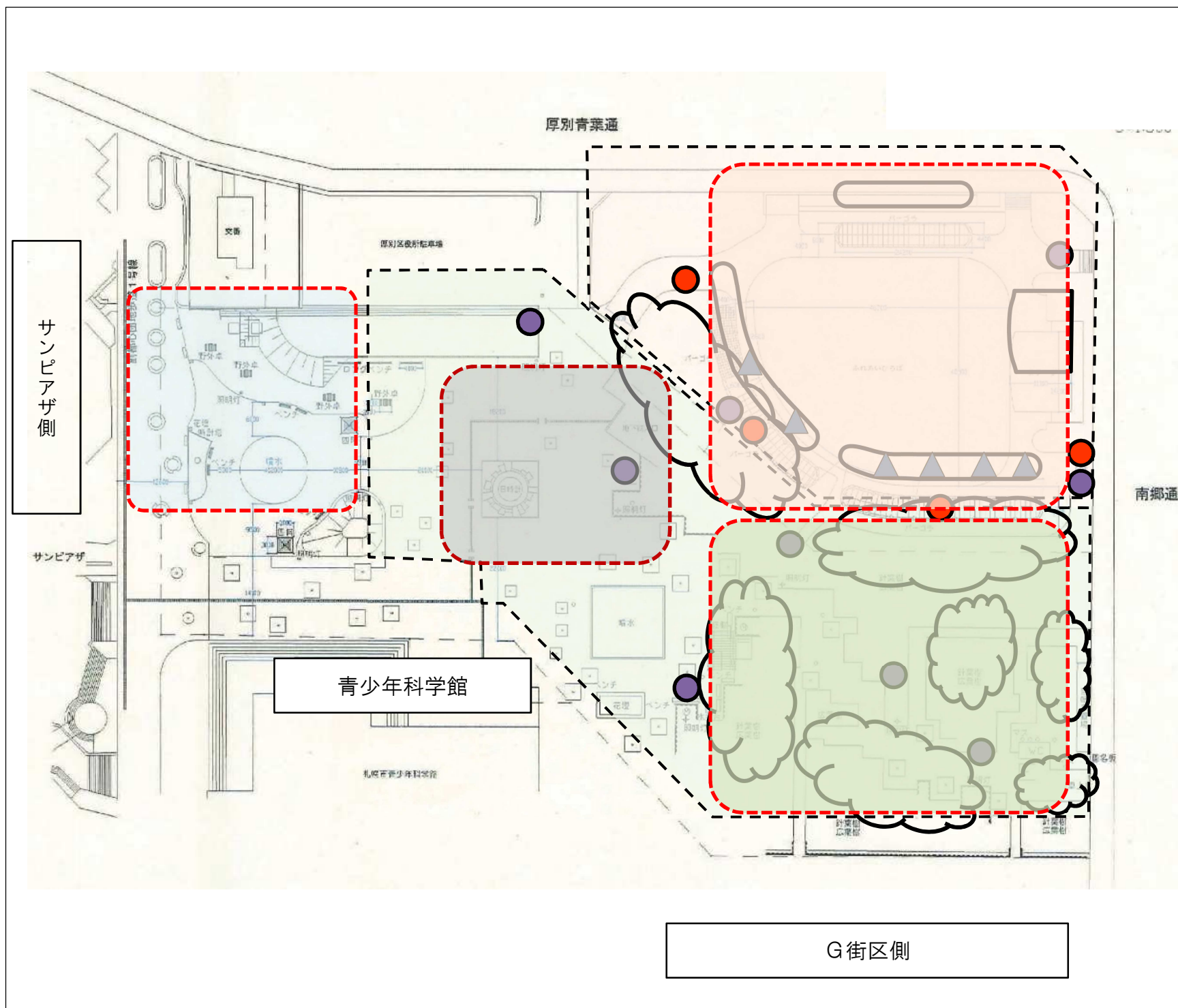
にぎわいの創出

ゆとりとやすらぎ
の確保

安心・安全の提供

空間の有効活用と
まち全体への寄与

情報発信と
魅力の強化



【全体】

大きく分けて、3つのエリア及び科学館正面スペースに関する意見が多数

【水色エリア（噴水）】 **子どものにぎわいと休息のエリア**

現状、夏場の利用については肯定的な意見が多数

- 平成20年にリニューアルされ、安全性の向上や休憩設備等が充実し、小さな子ども連れでにぎわう有効な設備
- 商業施設とも隣接しており、魅力・認知度は高いが、冬場の利活用及び更なる有効活用について検討の余地あり

【オレンジエリア（広場）】 **特ににぎわいを生み出し魅力を発信するエリア**

引き続き多様なイベントで多くのにぎわいを創出するべきという意見多数

- イベントなどが行える、区の賑わいにとって特別な空間
- 平日利用も含めた利用率の向上に関する課題、及び情報発信不足からくる認知度の低さなど、課題を解決し更なるにぎわい創出が必要

【グリーンエリア（公園南側の樹木帯）】

憩いを与えつつ、にぎわいが生まれるエリア

各エリアの中で最も整備の必要性に関する意見が多い

- 自然を感じる重要なポイントとなっているが、老木が多く樹木が生い茂ることにより安全性が懸念され、特に小さな子ども達の利用の支障となっている
- G街区開発とも隣接するポイントであり、今後交流人口の増加が予想される中で整備の必要性を強く感じるエリア

【グレーエリア（青少年科学館前）】

つながりの核、広場公園の顔となるべきエリア

- モニュメント等が支障となっており、広場・公園全体の回遊性を阻害するとともに、有効活用できていないのではないか
- 地下鉄出入口を出てすぐの空間であるが、効果的な活用がされていなく、汎用性も低いのではないか